

令和4年度事業報告

長いコロナ禍での不自由な生活が続いて居りましたが、やっと終わりが見えてつあります。とはいえ、まだまだ終結とはいかないので予防対策を取りつつ徐々に日常生活を取り戻すことが必要と考えます。まずは、悲しいお知らせです。昨年の10月に理事の川村光男さんが急逝されました。当文化協会にとっては非常に痛手であり、残念です。劇団員弁川の代表でもあり様々な協会活動には誰よりも率先してご協力頂き大変貴重な人でした。心よりご冥福をお祈りいたします。

今回、「春の文協まつり」が30回目を迎えることができましたことは大変喜ばしい事であり、会員の皆様方と関係者のご協力の賜物と感謝申し上げます。芸能では津軽三味線ユニット「KUNII-KEN」さんの演奏、展示では「森一蔵」先生の万古焼特別展示を行いました。多くの方々にご来場いただき節目の文化発信ができたのではと感じております。

近頃は、地球温暖化や台風地震などの天災、ロシアによるウクライナ侵攻等々、そして生活環境の変化と価値観の多様化、さらに世代間の相違等国民生活がより複雑に厳しくなりつつあると感じています。しかし、現状与えられた条件の中で文化活動を推進し町民文化を継続していかなければなりません。大東建託調査によりますと、東員町は「街の幸福度ランキング」が中部地方で17位、「住み続けたい街」では全国で32位と有難い評価を頂き、住民としても誇りに思います。このような素晴らしい町での文化活動が出来る幸せを感じながら未来志向で前向きに取り組むことが必要と感じております。文化活動の持続と発展のために皆様方のご支援とご協力をお願いしまして、令和4年度の報告とさせていただきます。

1 文化振興に関する自主事業の企画推進

1) 文化協会の自主事業

【表 - 1】

東員町および関係諸団体のご協力をいただき、会員の一致協力により今年度も様々な企画事業のひとつである春の文協まつりは、年度当初の計画を達成することができました。

4年ぶりに大茶会を東員町総合文化センター内の和室で実施することができました。また、恒例の囲碁大会では、近隣の実力者の集う有力な大会として定着しているが、コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました。

2) 協会加盟団体の自主事業

文協参画事業

【表 - 2】

加盟団体事業の内、協会が助成又は共催等として参画した事業を示す。

加盟団体活動事業

【表 - 3】

本年度も各団体の企画で多彩なイベントを開催する一方、近隣地域の様々な企画にも参加し精力的に活動を実施した。それらの一部を表に示す。

2 文化団体活動の育成指導

1) 視察・研修

理事研修は、東員町総合文化センターで元東員町選挙管理委員長の水谷仁士さんの講演「員弁郡・桑名市の身近なこと」を理事・監事13名が拝聴しました。

北勢線沿線について西桑名から阿下喜まで、穴太と関連しては滋賀県の大津に住んでいた石積みの穴太衆が桑名城の石垣を施工。明治維新でその石垣が、四日市港の護岸工事に用いられたことなどを語っていただきました。

2) 他地区文化協会との交流

11月13日(日)にいなべ市内で北勢地区文化団体交流会が開催され、会長・副会長が参加した。

3 東員町文化教育事業への参画

町からの委託を受け東員町公民館講座・東員町文化祭の企画運営全般を担当実施した。

1) 公民館講座の企画運営

本年度は募集講座数 50 に対し 33 講座が開講。受講生は 284 名であった。町内在住・在勤者に加えて新たに町外の方も昨年度から受講可能となった。受益者負担と受講への意欲高揚を図るため有料化 8 年目であった。

2) 東員町文化祭の企画運営

受託の展示事業に加えて協会の自主事業を織込み、講座卒業作品展を実施した。その結果は、表 - 1 に示した。3 年ぶりに茶室前庭園の野点席にて大茶会を開催しました。

3) 町および外部関係団体への参画

総合文化センターひばりホール等で催される町および外部関係団体の事業の内関連のある事業については後援形式で参画した。

4 組織的活動の充実・強化

各種委員会活動及び事業のプロジェクト体制が定着し、各位の献身的な努力のお陰で、年間事業計画を滞りなく成功裏に終えることができた。

5 目標達成に向けた施策

1) 広報誌「ひばり」の発行

企画および取材から編集に至るまで、あらゆる内容を協会の広報委員が担当し、最新号は第 97 号を迎えることができた。令和 3 年度からは、町内各戸配布は取りやめて、会員と関係機関等へ配布した。発行については、年 3 回から年 2 回(9 月と 2 月)になった。

2) ホームページの運用

上記広報誌とタイアップしホームページの運用をしている。

3) 常設展示コーナーの有効活用

総合文化センターホールの常設コーナーでの作品展示・団体紹介等を、加盟団体・個人会員間の調整により通年開催した。文化協会事務所玄関近くでも団体・個人会員の展示を開催した。

4) 加盟団体への助成

団体の活動を支援するため、積極的に共催・後援を行うとともに、10 団体に対し、総額 209,783 円の助成をした。(表 - 2 参照)

表-1 令和4年度文化協会自主事業(含受託事業)実施結果

| 事業名 | 開催日 開催場所 | 事業の概要及び実績 | | |
|---|--|-----------------------------|---|--|
| | | 来場者・ 参加者数 | 運営主体 | 実施結果等 |
| 1 東員町文化祭 (55回) オープニング 作品展示会 (受託事業) 大茶会 囲碁大会 | 10月29日～ 11月6日 総合文化センター 正面玄関外 10月29日～ 11月6日 総合文化センター 11月6日 総合文化センター 10月23日 総合文化センター | 50 1,566 132 | 事務局 展示PT 大茶会PT 囲碁同好会 | <ul style="list-style-type: none"> 本年度は、新型コロナウイルスの影響で囲碁大会が中止になった。 町長はじめ来賓の方々を迎え、開会あいさつ・テープカットに引き続き、民謡寿会による日本古来の邦楽演奏と唄で文化祭の幕を開けた。 出展数は、384点で昨年より約50点多かった。 搬入、搬出を2回に分けた。健康観察票の提出や玄関での検温等の協力をお願いした。 一般の町民への出展や参加の呼びかけと広報活動に尽力する。 全般的に作品の評価は高い。一階第一会場のレイアウトを工夫する。 3年ぶりに感染症対策を行なって開催。茶室前庭園の野点席にて行われた。当日子どもも多く参加され文化祭の最終日にふさわしい大茶会になりました。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| 2 公民館講座 (受託事業) | 6月～3月 | 284 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 募集講座数 50 のうち 33 講座が開講した。 |
| 3 第30回 春の文協まつり 作品展示会 芸能祭 大茶会 囲碁大会 | 3月8日～12日 総合文化センター 3月19日 総合文化センター ひばりホール 3月12日 総合文化センター 3月5日 | 1,088 600 150 | 展示PT 芸能祭PT 大茶会PT 囲碁同好会 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大対策として、搬入、搬出を各2回に分けた。玄関口での手指消毒や検温の協力をお願いした。会員・公民館講座卒業生作品と30回記念で桑名市の森一蔵氏作品を展示した。4年ぶりの生花が春の文協まつりに花を添えた。 芸能部会の会員約300名が舞台発表。日頃の練習の成果と鍛錬が発揮された芸が来場者を魅了した。30回記念で特別ゲストの四日市市観光大使であるKUNI-KENさんの津軽三味線の迫力のある演奏が来場者の心を揺さぶった。 4年ぶりに和室で、赤い毛氈を引いてその上に緑色毛氈のテーブルクロスのかみと椅子席でお茶会が行われた。前売り券121名と当日券29名の150名の方が来ていただいた。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| 4 理事研修 | 8月23日 総合文化センター | 13 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 元東員町選挙管理委員長の水谷仁士さんの講演「員弁郡・桑名市の身近なこと」を理事・監事13名が拝聴しました。一例として、北勢線沿線の「穴太」は滋賀県大津市の石工の「穴太衆」と桑名城石垣、その石垣が明治維新後に四日市港の護岸工事に用いられたという史実を語られた。 |

表 - 2 令和4年度 加盟団体事業（文協参画実績）

| 団体名 | 事業の内容 | 開催(開始)日 | 開催場所 | 文協参画 | |
|---------------|---------------------|-------------------|---------------|----------|------|
| | | | | 形態 | 助成申請 |
| 1 YYウクレレグループ | 第8回ウクレレ交流会&ミニ発表会 | 中止 | | | |
| 2 楽絵筆 | 第1回絵画と短歌の調べ展 | 7月6日(水)~10日(日) | 東員町総合文化センター | 主催 後援 | 有 |
| 3 ひばり窯陶友会 | ひばり窯陶友会クラブ展 | 8月26日(金)~28日(日) | 東員町総合文化センター | 主催 後援 | 有 |
| 4 東員町大正琴クラブ | 彩音会第10回大正琴コンサート | 9月18日(日) | 四日市市文化会館第2ホール | 参加 | 有 |
| 5 岡田水彩画グループ | 第12回岡田水彩画グループ合同展 | 9月29日(水)~10月2日(日) | 柿安シティホール | 参加 後援 | 有 |
| 6 陶芸第一クラブ | 自作の花瓶と生花展 | 10月14日(金)~16日(日) | 東員町総合文化センター | 主催 後援 | 有 |
| 7 気功クラブ | 第6回青空気功 | 10月1日(土) | 中部公園 | 主催 後援 | 有 |
| 8 員弁百人一首の会 | 第33回東員百人一首かるた大会 | 10月9日(日) | 東員町武道館 | 主催 後援 | 有 |
| 9 中部短歌会東員支部 | 第1回絵画と短歌の調べ展 | 7月6日(水)~10日(日) | 東員町総合文化センター | 参加 後援 | 有 |
| 10 笹尾民踊クラブ | 伊勢神宮奉納おどり | 10月2日(日) | 内宮参集殿能舞台 | 参加 | 無 |
| 11 YYフラグループ | YYフラグループミニ発表会 | 中止 | | | |
| 12 Glow Mix | Glow Mix 発表会 | 12月18日(日) | 東員町総合文化センター | 主催 後援 | 有 |
| 13 柴山茶華道教室 | 初釜 | 1月9日(月) | 六華苑 | 主催 | 有 |
| 14 ニットルームかわまつ | ニットショー | 中止 | | | |
| 15 東員囲碁同好会 | 中日新聞社権争奪東員町 囲碁大会 | 中止 | | | |

表 - 3 令和4年度 加盟団体活動事業（実績）

| 団体名 | 実施内容 | 団体名 | 実施内容 |
|---------------|--|-----------------|---|
| 1 陶芸第一クラブ | 自作の花瓶と生花展 自作の器で手打ち蕎麦を楽しむ 文化祭・文協まつり出展 常設展示ケース展示 | 17 員弁東部吟詩会 | 吟道関心流三重吟詠発表会 吟道関心流連吟吟競吟三重県大会 |
| 2 ひばり窯陶友会 | ひばり窯陶友会クラブ展 文化祭・文協まつり出展 常設展示ケース展示 | 18 菊水流詩舞東員クラブ | 笹尾睦会誕生会 春の芸能祭出演 |
| 3 東員フォトクラブ | 文化祭・文協まつり出展 常設展示ケース展示 | 19 民謡寿会 | 笹尾睦会誕生会 春の芸能祭出演 |
| 4 東員絵画クラブ | 文協まつり出展 常設展示ケース展示 | 20 飛龍東員太鼓 | 春の芸能祭出演 |
| 5 書道第一クラブ | 全国シルバー書道展三重県 文化祭・文協まつり出展 常設展示ケース展示 | 21 Glow Mix | KAZE～風～Glow Mix 発表会 2022 春の芸能祭出演 |
| 6 東員書道クラブ | '22 八千代展 文化祭・文協まつり出展 常設展示ケース展示 | 22 Y Y フラググループ | 春の芸能祭出演 常設展示ケース展示 |
| 7 楽 絵 筆 | 第1回絵画と短歌の調べ展 文化祭・文協まつり出展 常設展示ケース展示 | 23 バトンメイツフェニックス | 第48回全日本バトンワーリング選手権 東海支部大会 春の芸能祭出演 |
| 8 岡田水彩画グループ | 第12回岡田水彩画グループ合同展 文化祭・文協まつり出展 常設展示ケース展示 | 24 Y Y ウクレレグループ | 春の芸能祭出演 常設展示ケース展示 |
| 9 写遊人 | フォトアート作品展 四季作品展 文化祭・文協まつり出展 | 25 石垣茶華道教室 | 文協まつり出展 |
| 10 しゃくやく俳句会 | 定例句会 北勢線沿線 吟行 伊賀市吟行 文化祭出展 | 26 柴山茶華道教室 | 秋の大茶会 初釜 |
| 11 中部短歌会東員支部 | 第1回絵画と短歌の調べ展 2022 みえ県民文化祭短歌大会 文化祭・文協まつり出展 常設展示ケース展示 | 27 茶道裏千家 | 春の大茶会 |
| 12 箏曲麗明社「廣翔会」 | 芸能の祭典 いなべ市民祭舞台発表会 | 28 ニットルームかわまつ | 文化祭・文協まつり出展常 設展示ケース展示 |
| 13 東員町大正琴クラブ | 彩音会第10回大正琴コンサート 春の芸能祭出演 | 29 洋裁サークル・マミー | 文化祭・文協まつり出展 常設展示ケース展示 |
| 14 笹尾民踊クラブ | 伊勢神宮奉納おどり 名古屋民踊まつり 春の芸能祭出演 | 30 もめんの花 | もめんの花展示展 |
| 15 笹尾吟詩会 | 吟道関心流競吟大会 全国吟詠コンクール三重県大会 春の芸能祭出演 | 31 員弁百人一首の会 | 第33回東員百人一首かるた大会 |
| 16 東員囲碁同好会 | | 32 気功クラブ | 第6回青空気功 |